

## 110

難治性てんかんにおける脳血流SPECTの検討

西原真美子, 小田野行男, 高橋直也, 木村元政, 酒井邦夫  
(新潟大・放)

難治性てんかん24例について, 発作間欠期(一部の症例では間欠期ならびに発作時)にI-123 IMPないしTc-99m HMPAOを用いてリング型頭部専用カメラによりSPECTを撮像しその有用性について検討を行った。発作間欠期に部分性てんかんの18例中16例で焦点部に異常があり, 多くは低血流部として認められるが高血流部を認めることもある。West症候群やLennox-Gastaut症候群などの全般てんかん例では, 一側ないし両側の脳半球に広範に血流変化を認める。広範な血流低下を認めさらに局所的に著しい血流増加を示す例もある。発作時には両側の脳半球に広範に血流増加があり, また, 広範な変化とともに局所的な著しい血流増加を認める例もある。脳血流SPECTは発作焦点の決定や病態の把握に有用である。

## 111

TGA発作中の側頭葉内側部血流異常

橋川一雄, 森脇 博, 植原敏勇(阪大 中放), 田辺敬貴, 数井裕光(同 神経科) 奥 直彦, 岡崎 裕, 松本昌泰, 鎌田武信(同 一内) 藤田昌宏, 西村恒彦(同 トレサ)

TGA 3症例において, 発作中に脳血流SPECT及び記憶検査を施行し重度の逆行性及び逆行性健忘を確認, その後経時的に施行したSPECTと比較検討した。また, 問診にてTGA発作後と診断された12例について同様の検査を施行した。発作後のSPECTに比較して発作中SPECTにおいて, 両側側頭葉内側部の血流低下を2例に, また, 左側頭葉内側部の血流低下1例に認めた。発作後のSPECTでは, 両側PCA領域の低血流1例, 左視床の低血流1例, および左側頭葉の血流低下1例を認めたのみであった。全例において, 発作中の頭部CTおよび発作後の記憶検査に異常を認めなかった。TGAの病態に海馬を含む側頭葉内側部の血流異常が関与することが強く示唆された。

## 112

一過性全健忘発作の<sup>99m</sup>Tc-HMPAO SPECT

滝 鈴佳, 鹿熊一人, 角田清志(市立砺波総合病院放射線科) 坂下泰雄(同 内科)

一過性全健忘発作の3例に, 発症48時間以内に安静時及びacetazolamide負荷時の<sup>99m</sup>Tc-HMPAO SPECTを施行した。症例は53才と56才の女性各1名, 63才の男性1名であり, 全例Hodgesらの診断基準を満たしていた。安静時のSPECTでは, 3例中2例に左基底核底部の高集積を認め, このうち1例では右側頭葉にも集積増加が認められた。acetazolamide負荷時のSPECTでは, これらの高集積は消失した。残る1例は, 安静時, acetazolamide負荷時とも異常は認められなかった。全例とも, 発症後25-29日のfollow upのSPECT検査で異常は認められず, また頭部MRIや脳波にも異常は認められなかった。一過性全健忘発作の発症機序については, 従来報告されている側頭葉内側の虚血以外の原因も含まれるものと推察された。